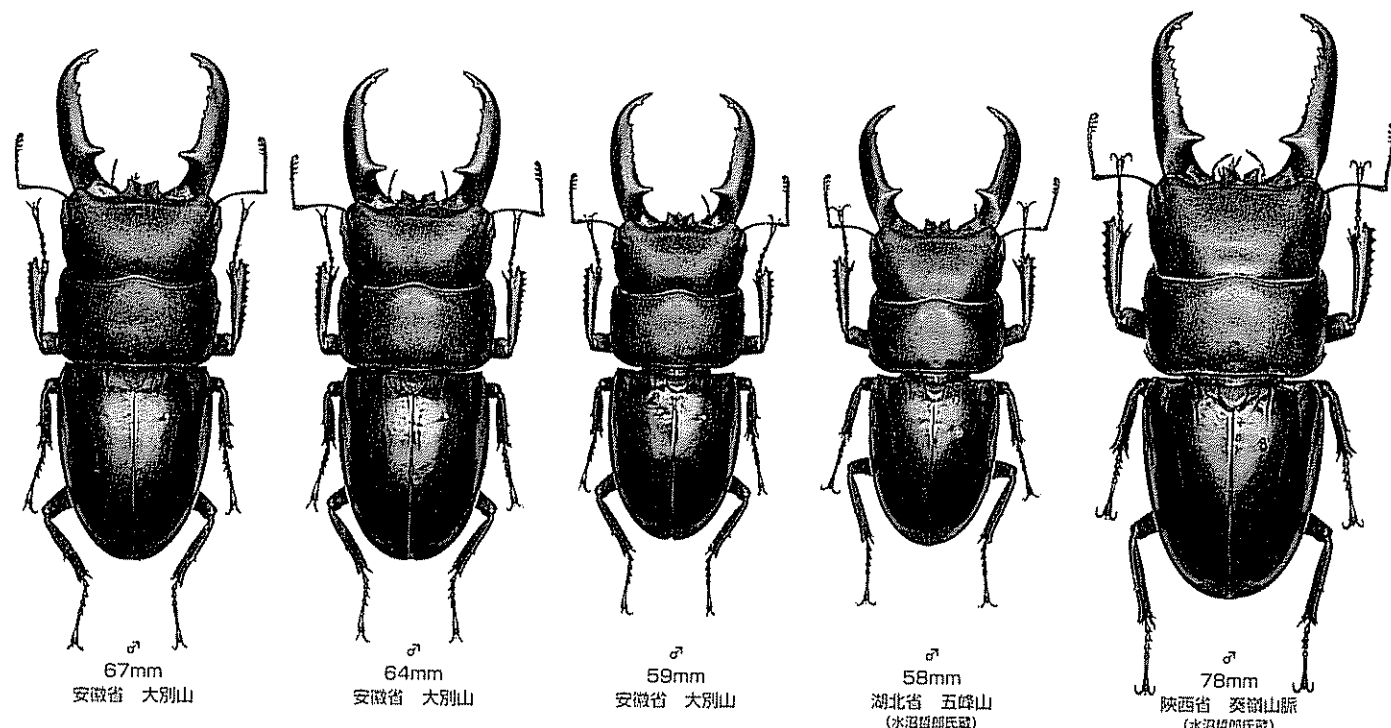


チュウゴクヒラタ

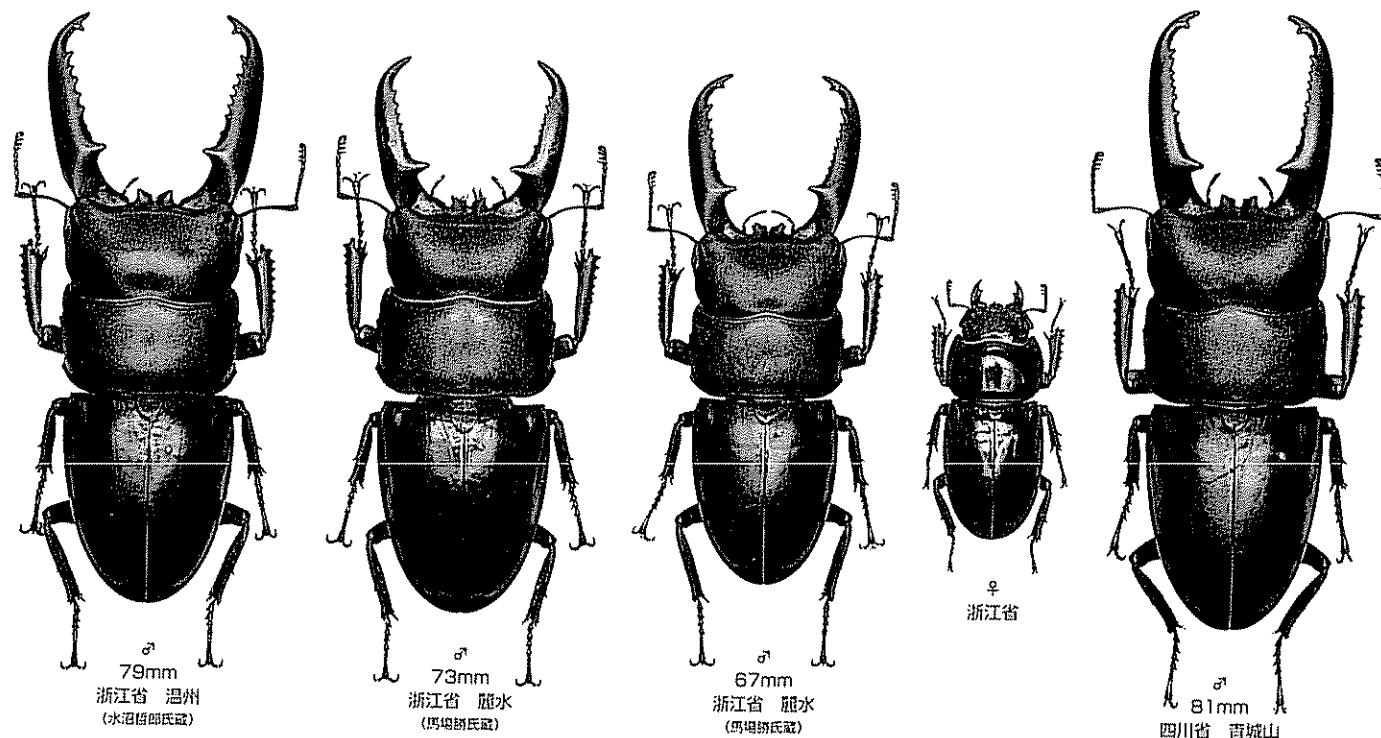


中国（安徽省・湖北省・陝西省・浙江省・四川省）のヒラタクワガタ

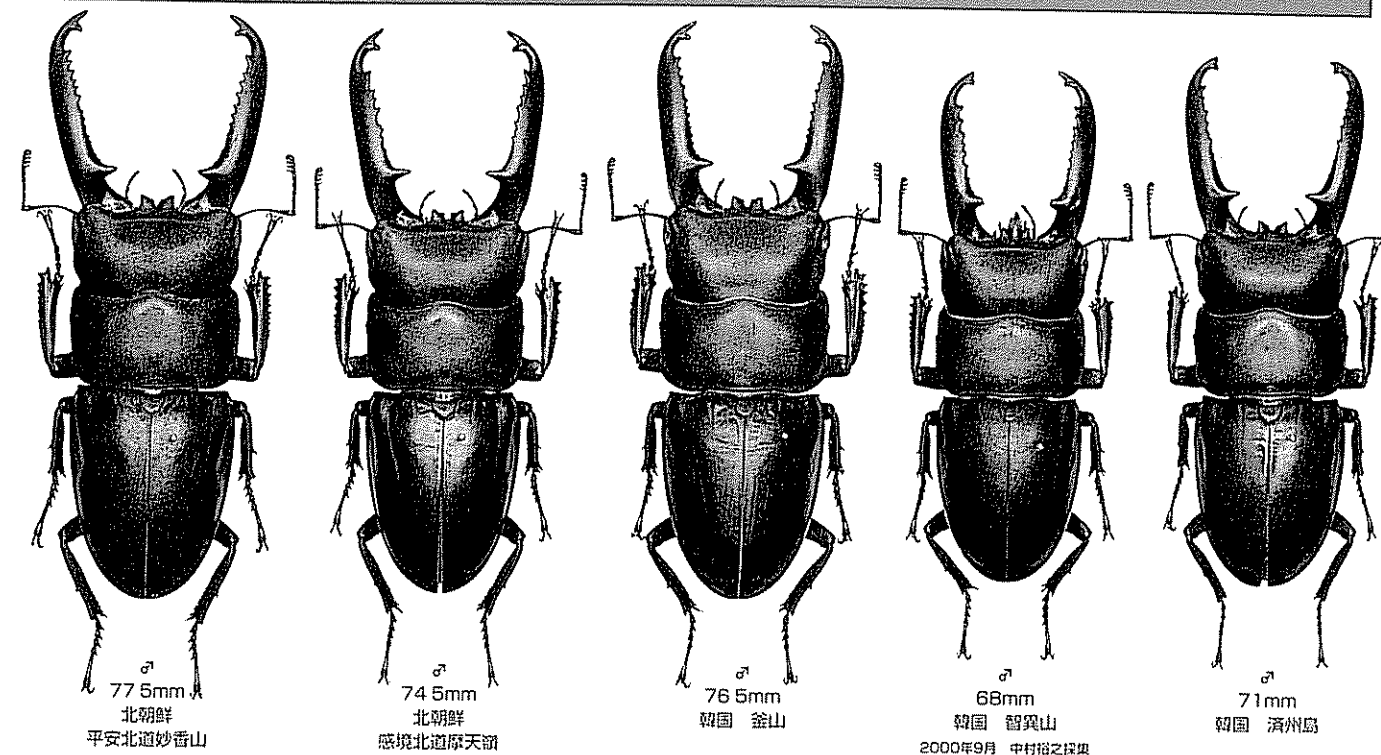
中国のヒラタクワガタの学名は、福建省・広東省周辺から記載された *platymelus* (Saunders, 1854) を当てるのが妥当と思われるが、西部の四川省や貴州省には、一見して大あごの長い個体群が分布しているおり、ここではニシチュウゴクヒラタと呼んでおく。

チュウゴクヒラタ

ニシチュウゴクヒラタ



ツシマヒラタ



朝鮮半島・台湾・海南島のヒラタクワガタ

朝鮮半島の大あごの長いヒラタクワガタは、ツシマヒラタと同じ亜種と思われる。北朝鮮のヒラタクワガタをもとに、1921年にKriesche氏は *fasolt* という学名を与えているが、日本の対馬から1861年にMotschulsky氏が記載した *castanicolor* の方が古いので、この学名を用いる。

タイワンヒラタ

チュウゴクヒラタ

